

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・保育所等訪問支援　はじめのいっぽ		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月15日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い支援員の派遣をしていること	保育所等訪問支援に行く支援員は幼稚園、保育園で担任や支援担当をした経験が十分にある者を派遣し、それぞれの年齢における集団の立場と、その子その子の発達の課題に応じた療育的な立場の両方をきちんと理解した上で支援するように努めている。	それぞれの園の理念や教育方針を理解した上で、個別のニーズに応じた支援方法について更に学んでいく。
2	保護者様とよくコミュニケーションがとれていること	訪問記録を報告書として作成し、を保護者様と園にお渡しして共通の理解ができるよう取り組んでいる。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援内容や役割分担について職員間で確認し、チームで連携した支援を行うことが難しい。	支援員からの発信や報告を職員間で共有することはできているが、職員から支援員への発信が少なく、支援員が担う部分が大きくなっている。	連携の仕方を見直し、事業所での支援でできることや訪問支援時に活かせることを密に情報共有し、理解を深めた上で行っていく。
2			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・保育所等訪問支援 はじめのいっぽ
------	-------------------------

公表日 7 年 3 月 25日

利用児童数 3 名 7 年 3 月 回収数 3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	1		1		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2			1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					
適切な 支援 の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				報告により、子どもの状況に応じて見守ったり、介入したりしていただけていることも伝わり、とても心強い。	分かりやすい報告書の作成を意識し、報告の際にはより一層様子が伝わるよう心掛けていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2			1		
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	1	1			
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				家庭では見られない姿も、園と事業所と、子どもの生活をひと続きで知ることができてありがたい。	訪問支援を通して、それぞれの環境での姿を共有し、成長に繋げていけるようにしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3					
非常時 等の 対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3					
満足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3					
	28	事業所の支援に満足していますか。	3					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

児童発達支援・保育所等訪問支援 はじめのいっぽ

公表日

7年

3月

25日

利用児童数

3名

7年

3月

回収数

3

チェック項目

はい

どちらとも
いいえ

いいえ

ご意見

ご意見を踏まえた対応

1

訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。

3

1人ひとりに対する発達状況を捉え、どのように伸ばしていったらよいかを共に考えていけるので助かる。

引き続き、それぞれの環境での支援児の様子を共有し、都度相談しながら進めていきます。

2

訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。

3

訪問支援による個別の援助で、集団の中に溶け込むように支援して頂き、満足している。

集団生活では手の届きにくい部分を、個別の関わりで支援していきます。

3

訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。

3

事業所での活動の様子など、保護者様との情報共有ができています。

今後も、園・事業所・家庭との連携を図っていきます。

4

保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。

3

クラスとして段階を踏んで伸ばしていきたい所を、支援員の個別対応を活かして進めることができています。

園での活動内容に合わせながら、丁寧な支援を心掛けていきます。

5

事業所からの支援に満足していますか。

3

大変満足している。

これからも満足して頂けるよう、精進していきます。

その他のご意見

ご意見を踏まえた対応

- ・積極的な関わりをしてくださり、連携して支援児に対し、保護者様を含め一体となって取り組めていけることに、大変満足している。
- ・園と事業所との情報共有が密なことと、保護者様の考えも明確に分かり、何より支援児にとって最適な手立てを一緒に考えていけることが訪問支援事業にとって理想的と感じている。

お忙しい中、支援員の受け入れ体制を整え、毎回快く迎えてくださっていることに感謝しております。支援を希望される保護者様の意向を踏まえながら、園生活における支援児の発達を手助けしていけるよう、今後も連携を図り、取り組んでいきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・保育所等訪問支援 はじめのいっぽ			公表日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 営・ 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	7			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	7			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	7			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	4	3		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	7			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	7			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	7			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	5	2		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	7			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	7			
	20	障害児相談支援事業所のサー ビス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、 職員を外部研修に参加させているか。	5	2		
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積 極的に参加しているか。	4	3		
保 護 者 等 へ の 説 明 等	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	7			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	6	1		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に 説明を行っているか。	7			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の 尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保 護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 必要な助言と支援を行っているか。	7			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、 活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信し ているか。	7			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	7			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、 必要な助言や支援を行っているか。	7			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っ ているか。	7			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を 行っているか。	7			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門 的な助言を行っているか。	7			
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するととも に、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措 置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について 検討をしているか。	7			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を しているか。	7			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に 決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児 童発達支援計画に記載しているか。	6	1		